

令和元年8月8日（木）子ども環境体験ツアー「地球環境を守るもの」

日 程

豊川市役所 → もりの^{まなびや}学舎(長久手市)

→ グリーンサイクル(株) 家電リサイクル工場 (名古屋市港区) → 豊川市役所

当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生14名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。ここでは、インタープリター（森の案内人）の方と森の中で様々な体験をすることができます。今回は、森の中で見つけた木に自分で名前をつけ、名付け親になる体験をしました。

班に分かれて森の中を観察し、面白い木を見つけると自分たちが見て感じたままに名前をつけて発表しました。



今の愛・地球博記念公園は豊かな森に囲まれています。昔は木を燃料として使うために森の木がたくさん切られてしまったこと、はげ山に木を植えたことで森がよみがえったことなども教えてもらいました。

午後は名古屋市港区にあるグリーンサイクル株式会社の家電リサイクル工場を見学しました。ここでは、テレビや冷蔵庫など家電4品目とパソコンを解体し、素材に戻すリサイクル処理の様子を見学することができます。



私たちの家にある家電がいなくなった後、その中に含まれる金属やプラスチックなどがリサイクルされ、そのほとんどが新たに資源として生まれ変わっていることを知ることができました。家電を手作業で解体して分別することで、質の高い素材としてリサイクルが可能になることを教えてもらいました。解体後の家電を粉砕して金属やプラスチックなどが混ざった状態になっていても、磁石や水などに対する性質の違いを利用すると選別が可能になることを実験して見せてもらいました。

冷蔵庫やエアコンには地球のオゾン層を破壊するフロンが使われていますが、フロンは一台一台手作業で抜き取って回収している様子も見学することができました。

今回の子ども環境体験ツアーでは、自然を体験し、家電リサイクルの現場を見て、私たちが環境を守っていくことについて考えることができました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ もりの学舎でたくさんの発見ができた。
- ・ もりの学舎では、森の学習がいろいろできて楽しかったです。
- ・ 家電のリサイクルは解体してからリサイクルをするとわかった。
- ・ いろんな事が知れてよかった。

・・・など